

あかるく
なかよく
たくましく



学校だより

武岡台養護学校平成27年3月2日(月)

学校ホームページアドレス
<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/Takeokadai-H/top.html>

～子供たちの成長とともに～

教頭 新地 浩三

武岡台養護学校に赴任して2回目の卒業式を迎えます。昨年4月当初265人の児童生徒と職員133人が力を合わせて5月末の運動会を始めとして、修学旅行、学習発表会、産業現場等での実習、作品展示会、武養祭、校外学習など保護者の皆様の御協力も得て無事終了できました。

学校では初任の先生や6年目・11年目の先生方が研究授業を行い、それぞれが授業力の向上に向けて連日、教材研究や児童生徒の実態調査、指導案作りなどに頑張ってきました。そして、その先生方の授業を参観するたびに子供たちの表情が生き生きとなり、先生たちの指導法にも創意工夫が見られるようになってきました。教師と子供たちが一体となった授業は専門性や指導力の力量の差はあれど授業後に「さすが」「感動を与えてくれました」「授業を大切に先生こそが本物」と先輩教師から教えられてきましたが、まさしく武岡台養護学校にはそのような先生たちが在籍していることに誇りを感じています。

私事ですがこの3月末で定年退職を迎えますが「いい学校」に巡り会えて幸せでした。38年の教師生活にピリオドを打ちます。今まで、ありがとうございました。



～卒業に向けて～

今年も3月に小・中・高の卒業式が行われます。卒業を前に各学部での思い出やこれからに向けて、卒業学年の主任からのメッセージを紹介します。

<小学部>

小学部6年生13人のみなさん、卒業おめでとうございます。6年前に入学してきたときはとても小さかったのに、今では心も体も大きく成長し、小学部では最上級生として頼れるお兄さんお姉さんでした。

今、卒業制作では小学部のみんなが座る長椅子作りに取り組んでいます。作業の磨き、ペンキ塗り、ねじ打ちなどの行程の中で、みんなで協力したり分担したりしながら頑張る姿は、本当に頼もしいです。機械を使っただけの作業にも積極的に。この力が次の中学部のステージできっと花開くことなのでしょう。自信をもって前に進んでください。

あなたたちのことをずっとずっと応援しています。(小6年学年主任 木元千代子)



<中学部>

中学部26人のみなさん、御卒業おめでとうございます。月日の経つのは早いもので、皆さんが期待に満ちた表情で臨んだ入学式がつい先日のように思われます。大運動会、校内実習、宿泊学習、修学旅行、販売活動、ジョギング・ウォーキング大会など、数々の行事にいつもやる気、元気、笑顔をもって前向き、真剣に取り組む、皆さんの個性と団結力、そして一人一人の可能性を多くの方々に示し、たくさん感動を与えることができました。楽しかったこと、頑張ったこと、それぞれが皆さんの糧となり、心も体も大きく成長したことを今、実感しています。ただ、いつも笑顔絶やさなかった優幸さんの訃報は、大変悲しい出来事でした。命の尊さ、今日という日を全力で生きる大切さを改めて痛感しています。優幸さん自身、もっともっと多くを学びたかったことでしょう。優幸さんが精一杯生きて証を私たちの心の中にずっと刻み続けていこうと思います。優幸さんの日々の一生懸命な思いを忘れることなく、卒業する中学部3年生全員、毎日を充実したものにしてほしいと思います。高等部での3年間は、社会に旅立つ上での大切な準備期間です。中学部の友達と一緒に頑張ってきた楽しい思い出は、みなさんの勇気と自信になると思います。自分の可能性を信じて、たくさんの方に挑戦し、自信をもってはばたいてください。

これから始まる高等部での生活の一日一日を大切にして、新しい学校生活にチャレンジしてってください。ひまわりのように大きな大きな花を咲かせてくれることを願っています。(中3年学年主任 山口祐子)



<高等部>

41人の高等部3年生のみなさん、御卒業おめでとうございます。

短い人で3年間、長い人で12年間の本校での学校生活はどうでしたか？楽しかったことやつらかったこと、嬉しかったことや悲しかったこと・・・たくさん思い出ができたことなのでしょう。

皆さんは、生まれてから18歳になった今まで、一步一步、しっかりと足どりで歩んできました。その歩みの歩幅や、スピードはみんな違ったと思います。しかし、皆さんは間違いなく成長してきました。これは紛れもない事実です。人間は、一生を終えるまで成長し続ける生き物だそうです。そして成長の裏には、家族や友人などいろいろな人の支えがあったはずなんです。いよいよ社会人や、学生としての生活がスタートします。これまで支えていただいた人への感謝の気持ちと新たな人との出会いを大切に、時にはスピードを上げ、時にはゆっくり、たまに立ち止まって休憩しながら、これからも自分の足でしっかりと歩んでほしいです。そして、人の心を動かすことのできる人間になってください。皆さんの夢と希望をたくさん載せた船出を心から祝福します。いつか、必ずみんなで再会しましょう！

(高3年学年主任 早崎宣仁)

